

産業廃棄物処理計画書

令和4年6月27日

大分市長 佐藤 樹一郎 殿

提出者 〒872-1202

住 所 大分県豊後高田市香々地4089番地

株式会社 菅 組

氏 名 代表取締役 堤 俊之

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0978-54-3311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 菅 組
事業場の所在地	豊後高田市香々地4089番地
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	令和3年度完成工事高 80億円
③従業員数	176人
④産業廃棄物の一連の処理工程	廃棄物発生→収集運搬業者委託→処分業者委託→最終処分 ↓ 中間再生



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項					
別紙-1のとおり					
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
①現状	【前年度（令和3年度）実績】 別紙-2のとおり				
	産業廃棄物の種類				
	排出量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の発生抑制を考慮した工法、資材等を使用する。				
②計画	【目標】 別紙-2のとおり				
	産業廃棄物の種類				
	排出量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 廃棄物の発生抑制を考慮した工法、資材等を使用する。				
産業廃棄物の分別に関する事項					
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別可能な物は分別する。				
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別可能な物は分別する。				

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
①現状	【前年度（令和3年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	-				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	-	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	-				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	-	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)					
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
①現状	【前年度（令和3年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	-				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	-	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	-	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	-				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	-	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	-	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度（令和3年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	-				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	-				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（令和3年度）実績】 別紙詳細表のとおり					
	産業廃棄物の種類					
	全処理委託量	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	全処理委託量	t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t
<p>(今後実施する予定の取組) 環境に係る社会活動への積極的な取組 市・環境団体等が催すイベントに積極的参加、協力していきたい。</p>					
※事務処理欄					

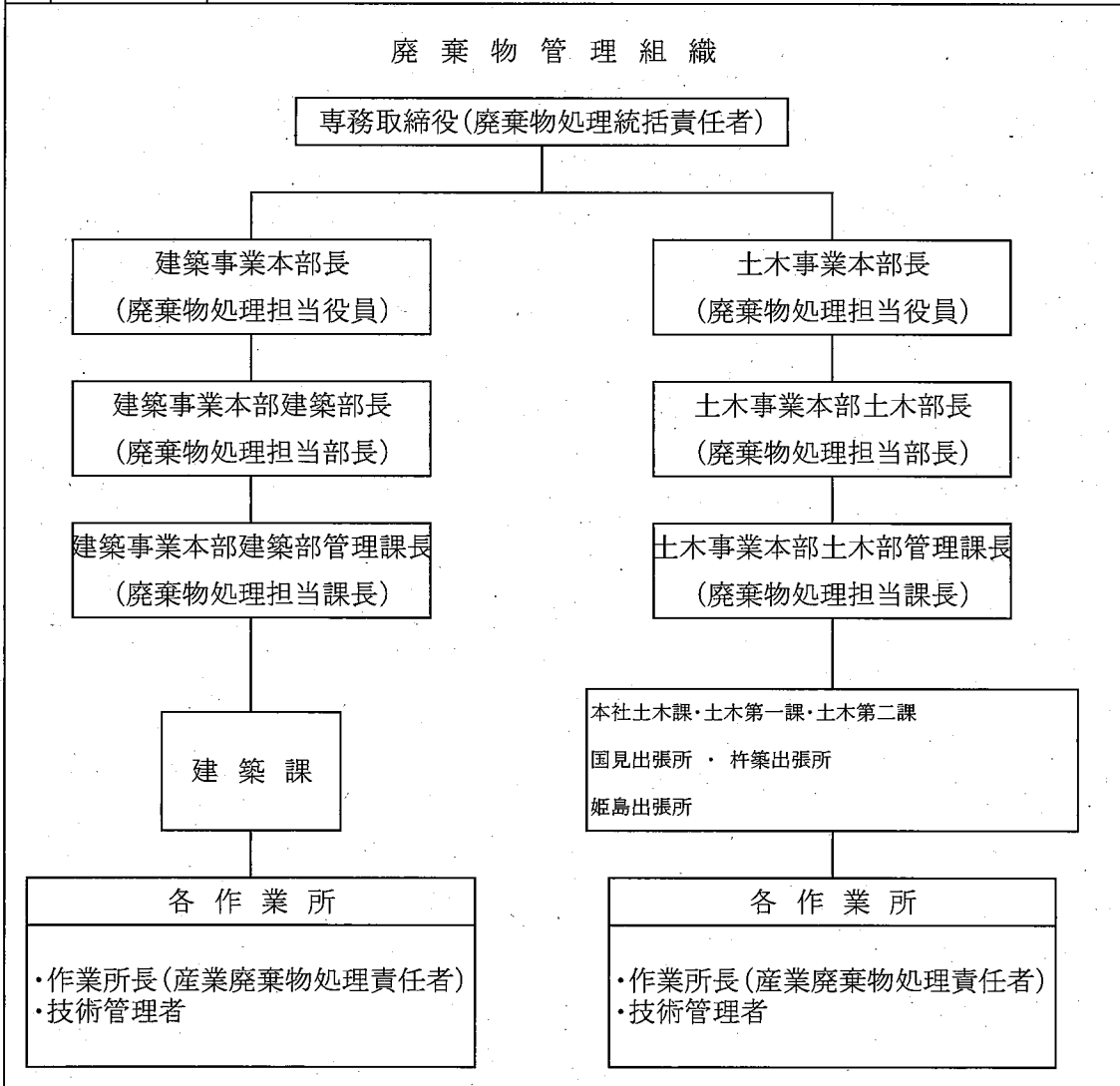
(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

別紙一1 管理体制 (廃棄物処理に関する管理組織等)

統括責任者	専務取締役
廃棄物担当	組織名:土木事業本部土木部管理課及び建築事業本部建築部管理課 組織人数4人
役割	廃棄物処理統括責任者 <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理担当部課長 <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理に関する検討 ・廃棄物処理計画の作成 ・廃棄物の管理状況の把握 ・処理業者、再生利用業者の調査、選定 ・委託契約の締結 ・監督官庁への各種報告 ・社員に対する教育・啓発 ・各出先に対する情報提供、支援及び指導 ・その他関係する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙一2

【前年度(令和3年度)実績】											
廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラ	紙くず	木くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	コンクリートがら	アスコンがら	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
①現状	4,654.55 t	2.87 t	28.95 t	0.55 t	62.15 t	2.00 t	81.00 t	2,339.38 t	647.95 t	0.23 t	143.00 t

【目標】											
廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラ	紙くず	木くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	コンクリートがら	アスコンがら	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
②計画	3,000.0 t	0.0 t	20.0 t	0.0 t	50.0 t	0.0 t	50.0 t	1,500.0 t	500.0 t	0.0 t	100.0 t